平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	大学院生を活用した学部学生のレポート作成能力の向上支援の取組
実施組織	附属図書館中央図書館
実施責任者	森 一郎
取組の目標	初年次学生対象の授業共通教育科目「大学生基礎力ゼミ」および「人を動かすための理論と方法ゼミ」において課されたレポートの作成に対して、附属図書館(中央図書館)に配置された大学院生の相談員(図書館ラーニングアドバイザー、以下図書館 LA と略す)を活用し、レポートの書き方支援を実施し、学生が大学で求められるレポートを書けるようにする。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援を担当する図書館 LA への研修計 5 回 事前研修 2 回、中間研修 1 回、期末研修 1 回、最終まとめ 1 回 2. レポート支援スペースの整備 机×2 台、椅子×6 脚を購入し、支援スペースを整備した 3. 図書館 LA によるレポート支援 のべ 193 時間 支援利用学生 101 名 4. 利用学生および図書館 LA へのアンケート調査および分析 5. 支援を受けた学生のレポートの点数は、そうでない学生と比較して高くなることが確認できた。 6. 活動の内容と成果についての報告レポートの作成・公開 別添のとおり
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	支援を受けた学生のレポートの点数はそうでない学生と比較して、レポートの点数が高くなる傾向があった。また、学期末に実施した学生へのアンケート調査では、「後期もこの支援の受けたい」と回答した学生が 6 割以上、「友達や来年の 1 年生に、この支援を受けることを勧めたい」と回答した学生が 7 割以上にのぼったことから、このような支援への要望が高いことが分かった。平成 25 年度は、学長裁量経費により「大学生基礎力ゼミ」を共通シラバスで 6 コマ開催し、更に支援を広げる計画である。